



鳥取大学附属中学校  
第2学年通信第11号  
令和4年9月14日  
文責：藤原一恵

# どのような附中生活をすすかというプロセスが大切

9/10(土)は、とても素敵な時間を過ごせました。

私は、来年度最上級生になる皆さんに「附中生、3年生」であることに自信と希望をも、  
進んでもらいたいと思、ていました。「学年の集い」の住川英明先生のお話は、とても優しく、あたた  
かい言葉で、皆さんの背中をそ、と押して下さ、るよう感じられました。また、講演の間の  
聴く姿勢や、準備や片付けの手伝、を率先してしてくれる姿がとても素晴らしく、私の心配は  
無用だったのかなと思わされ、皆さんを頼む、く感じました。き、と大きな**プライド**が持てる  
よくなるな、とこれからが楽しみになりました。リ、ンですが、ふ、い、反、りの文章を載、せま、す。

私は、「討論」よりも「議論」を大切にす、る、という  
お話が心に残りました。この2つの言葉のように、  
似ているけど意味は全然違、う言葉は世界にたく  
さんあると思います。住川先生のように、1つ2つの言葉の  
本来の意味を自分なりに考え、ると、ボキャブ、ラ、リ、ーが  
豊か、で、深いものになるんじゃないかなと感じました。  
また、人は軸、り、で、お、こ、っていることを簡単に言語化し  
てとらえる、と私は思うので、ボキャブ、ラ、リ、ーが深まら  
ば、私の軸、り、で、お、こ、っていることのとらえ方も、  
もっと良いものになると思います。そして、な、に、か、と  
中学校生活は忙、し、く、て、時間ばかり気にしてしま、う、よ  
うな日もあります。なので、悠、悠、と急、ぐ、休、む、とき、は、ちゃん  
と休、む、生活を送りたいです。

## 切磋琢磨 文武併進

お話を聞いて印象に残、たのは、「柔軟さ」と「全力  
をはじ、め、す」とこの二つがポイントの中でと特  
に印象に残、りました。「柔軟さ」の例として水泳  
の授業が取り上げられていて、最初自分は、バ、レ  
エ、の授業の方がか、る、と思、わ、れて「水泳」の練習  
だ、と、聞、いて「す、ご、い、発、想、だ、な」と自然と頭、出、て  
くるほどおどろ、きました。「全力をはじ、め、す」では合唱コ  
ン、ク、ール写真があり、す、ご、い、音、が、響、く、た、ら、う、な、と思、っ、て、い  
たら先生が「武道館がジ、ジ、ジ、音、を、立、てる、ら、う」と  
言、っ、て、おどろ、きました。去年のコンク、ールは大きなホ、ル  
でマ、ス、ク、を、つ、け、て、い、た、ら、と、い、っ、て、音、が、聞、こ、え、る、と、い、く、今、の、自、分  
た、ら、は、全、力、を、は、け、い、っ、て、い、る、だ、と、感、が、か、さ、れ、ま、し  
た。今年からは大きな声で歌、う、たい、思、っ、て、い、ま、す。  
何、事、も、全、力、で、が、ん、ば、り、たい、思、っ、て、い、ま、す、!!

先生が生徒に教えることの方がたくさんある  
と思、っ、て、い、た、の、に、私、た、ら、生、徒、か、ら、学、ん、だ、こ、と、も  
たくさんあり、び、く、り、し、た、私、に、は、ま、だ、議、論、が  
未、熟、な、部、分、が、あ、る、の、で、今、日、の、話、を、聞、い、て、  
自、分、の、意、見、を、持、ち、な、が、ら、相、手、の、考、え、を、聞、い、て  
共、感、す、る、こ、と、が、大、切、だ、と、思、っ、た、  
残り半分の中学生活は、責任感を持、て、過、ご  
し、た、い、っ、思、っ、た、。好、奇、心、だ、け、を、持、て、生、活  
し、て、も、相、手、を、傷、つ、け、て、し、ま、う、の、で、柔、軟、性  
を、身、に、つ、け、て、い、き、たい、。3年、生、に、な、る、ま、で  
に、普、段、か、ら、附、中、生、ら、し、く、。仕、事、を、し、。か、り  
と、こ、な、す、人、に、な、り、たい、と、思、っ、た、。

お話を聞いて一番印象に残、ったことは、何  
事、に、も、挑、戦、す、る「好、奇、心」という言葉です。今、ま  
ご、の、学、校、生、活、の、中、で、私、は、始、め、か、ら、挑、戦  
せ、る、。あ、ま、り、め、た、こ、と、が、あ、り、ま、し、た、。し、か、し、今  
日、の、お、話、を、聞、い、て、こ、こ、ら、よ、う、て、失、敗、す、る、こ、と、を  
怖、が、ら、ず、。何、事、に、も、挑、戦、し、て、い、く、こ、と、が、可  
ご、い、大、事、な、ん、だ」と改、め、て、気、づ、く、こ、と、が、で、ま、し  
ま、し、た、。私、は、今、中、学、2年、生、で、後、輩、を、い、ま、す、。  
お、話、か、ら、学、ん、だ、こ、と、を、生、か、し、て、か、こ、い、い、先  
輩、と、し、て、の、姿、を、見、せ、後、輩、や、。ま、た、ど、の、後、輩、  
へ、と、ど、ん、ど、ん、タ、ク、タ、ク、の、人、に、伝、え、れ、て、い、い、た、ら、  
ら、い、い、な、と、思、っ、て、い、ま、す、。

住川先生のお話を聞いて、「失敗を  
お、こ、し、な、い、こ、と」を、か、ん、け、り、な、う、と、思、っ、た、  
失、敗、を、お、こ、し、て、い、たら、新、た、な、こ、と、ア  
自、分、の、苦、手、な、こ、と、に、チ、レ、ン、ジ、ン、で、ま、し、す、!  
成長して、い、け、な、い、の、で、失、敗、す、る、こ、と  
を、お、こ、し、な、い、。ま、し、失、敗、し、て、し、ま、す、と、せ、  
あ、ま、り、の、り、か、ん、け、り、た、い、と、思、っ、た、  
教、学、の、授、業、な、ど、で、「朝、か、ず、お、い、い、」と、い、っ、て  
言、わ、れ、る、の、で、自、分、の、意、見、を、サ、ク、に、こ、し、  
せ、ず、。近、く、の、人、と、話、し、合、い、。意、見、を、深、め、る  
柔、軟、性、を、お、か、し、て、い、ま、す、と、い、い、た、ら、あ、り、ま、す、。